

# チャレンジ 『challenge』



令和4年6月17日  
文責 安井 仁

## 自治力の大切さ

少し前になりますが学級生徒会が行われました。学級生徒会とは、正副室長を中心にクラス内の各委員の日々の活動について、できた、できなかっただけを振り返るのではなく、どの委員のどんな活動が十分にできていないのか、各委員会の活動に対してのクラスの協力体制は十分に出来ているのかなど自分たちのクラスの現状を見つめ直す時間です。このように活動内容を共有することで、万が一、委員会の活動を忘れていても、友達が声をかけることができます。自分の仕事じゃないから関係ないではなく、自分たちのクラスのために気づいた人が声かけをする、そんな自治力の高いクラス、学年、学校であってほしいと思います。さらにこの時間は、普段当たり前で学校生活を送ることができるのも、一人ひとりが与えられた仕事に対して責任を持って取り組んでいるからということにも気づかせてくれます。できていないことばかりに目を向けるのではなく、コツコツとクラスのために取り組む友達に感謝する時間になることも期待しています。



## 自分との付き合い方

中学生という時期は、思春期と重なり、心も大きく変化していきます。自己肯定感が低く、今の自分は好きではないという生徒もたくさんいることでしょう。実際、自分の短所はたくさん言えるのに、長所を言えない生徒もいます。(恥ずかしさや謙遜もあるでしょう)

道徳の時間に各クラスで、自分との付き合い方を考えよう『自分の性格が大嫌い!』をしました。自分のことは自分が一番よくわかっていると思っている人も多いでしょうが、

100%自分をわかっている人はいません。またほんの少し

見方や言い方を変えるだけで短所が長所に、長所が短所になったりする場合もあります。例えば自分は心配性だと思っても、他人から見れば慎重で気配りができる人と思われていることもあるでしょう。大切なのはバランスで、自分が短所と思っていることも、ちょっとした**心がけ**で長所が変わります。長所と短所は紙一重なのです。道徳の時間で学んだことを普段から意識してみると自分との付き合い方が変わり、そして友達との付き合い方も変わるのではないのでしょうか。それは子どもだけでなく、大人も同じです。道徳の授業を参観しながら長所を大切にされた言動を心がけたいものだと私自身も思いました。

